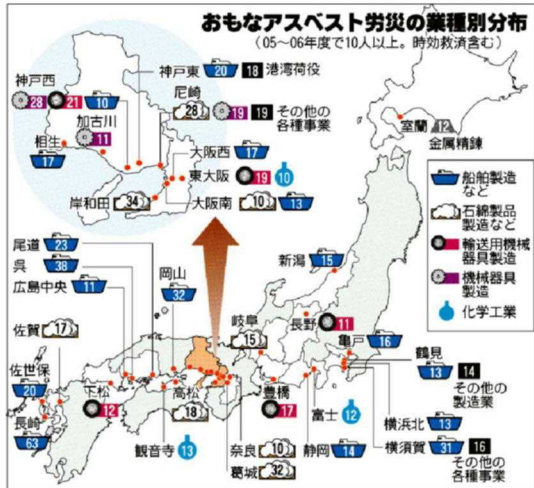


# 石綿労災認定・救済 05~06年度3478人



## 患者支援団体が開示請求

アスベスト(石綿)被害の患者支援団体「中皮腫・じん肺・アスベストセンター」(東京都江東区)は2日までに、05~06年度に石綿労災として認定された事例として、石綿健康被害救済法に基づき時効救済された計3478人分のデータを情報開示請求で入手した。事業所名は隠

## 新たに520事業所 厚労省公表せず

されていたが、少なくとも全国720カ所(建設業を除く)に及び、これまで知られていない事業所が520カ所以上になることも判明。現時点での被害の全容が明らかになった。厚生労働省は、05年に労災発生の事業所名を公表したが、その後は拒んでおり、被害者救済のため早急な公表が求められる。

(3面にクローズアップ、12、13面に特集、29面に関連記事)

入手したのは、労働基準監督署への労災申請や石綿健康被害救済法に基づく労災時効(死後5年)の救済申請と、認定の可否が事例ごとに記録された「処理経過簿」という文書。認定されなかった計1033人分も含め、合計4511人分は総計4511人分に達した。

事業所名や個人名などは伏せられていたが、管轄の労基署名や事業所の業種コード番号などが記されていた。データを整理して分析した結果、各業種別の被害が集中するなどの石綿労災の被害

実態が浮かび上がり、新たに判明した事業所は全国で520カ所以上に達することが分かった。業種別に見ると、この2年間で認定数が最も多かったのは建設業で1418人。船舶製造業が455人、輸送用機械器具製造業が197人で続いた。また、パルプ・紙製造業や印刷など専門家も知らない業種で、被害が発生していることも判明。造船業が盛んな長崎労基署管内で船舶製造業の83人が認定されるなど、地域によって石綿を集中する

# 新たに520事業所

MAINICHI

# 新毎日

発行所: 大阪市北区梅田3丁目4番5号 〒530-8251 電話(06)6345-1551  
毎日新聞大阪本社 ©毎日新聞社 2007

News Click 情報サイト <http://mainichi.jp/>

フィギュアNHK杯連覇 高橋 大輔 23

きょうからバリでCOP13 11

星野ジャパン 宿敵韓国破る 20

坂出事件 逮捕からあす1週間 28

教育10 環境11 スポーツ18~20 23

小説15 碁・将棋18 読んであげて24

お天気

きょうから	あすから	6時	12時	18時	24時	4(火)	5(水)	6(木)	7(金)	8(土)			
大阪	晴	70	30	20	20	50	40	1014	913	511	513	714	914
京都	晴	70	30	20	20	50	40	614	511	310	312	414	713
神戸	晴	70	30	20	20	50	40	513	49	29	211	312	611
北九州	晴	60	30	20	20	50	40	815	713	511	613	814	1014
福岡	晴	70	30	20	20	50	40	513	511	29	312	513	713
滋賀	晴	70	30	20	20	50	40	512	512	39	311	313	613
奈良	晴	80	30	20	20	50	40	514	610	19	112	213	513
和歌山	晴	70	30	20	20	50	40	1016	912	511	513	815	915
札幌	晴	40	70	70	70	50	40	-3	-2	-1	-5	-2	-2
東京	晴	30	10	10	10	20	30	917	814	510	412	714	915
名古屋	晴	60	30	20	20	50	40	610	612	310	212	513	714
福岡	晴	50	30	20	20	50	40	913	712	411	413	715	814
沖縄	晴	50	20	30	30	50	40	1821	1721	1721	1722	1822	1722

## 甲子園ボウル 関学大VS日

実態も明らかになった。一方、肺がんの労災時効の救済申請(取り下げ分を除く)は、計565人からあったが、認定されたのは272人で、不認定はそれを上回る293人だった。肺がんとの因果関係を示す証拠が不十分だと認定された例が多数あった。

厚生労働省は05年7月と8月の2回、石綿労災が発生の事業所名などを過去分を含めて公表したが、それ以降、都道府県別件数などを公表するにとまっていた。毎日新聞は多数の被害者がいるとみられる36社に取材したが13社が回答せず、うち9社が船舶製造業だった。ある会社の担当者は「業界で足並みをそろえて回答しないことには」と明かした。

中皮腫・じん肺・アスベストセンター所長の名取雄司医師は「事業所名の非公表は、勤務経験者の労災認識や、周辺住民への警鐘の妨げになっていく。厚労省が各職場

刃住民に情報を提供しなければ、不作為責任や故意責任に問われるだろうと批判する。【大島秀利野田武、曾根田和久】

厚労省補償課の話 事業所名は05年夏以降公表していないが、公表に向けての検討をしている。

2月正式に決まり、全部

# 救済阻む

## 石綿被害の全容判明

患者支援団体による情報開示請求で、アスベスト(石綿)被害の詳細が浮き彫りになった。しかし、開示された文書の事業所名は黒塗りされ、厚労省の事業所公表も2年前からストップした。また、石綿の専門家からは「非公表が、より多くの被害者を救済する障壁になっている」との厳しい批判が出ている。C型肝炎問題の情報隠しが発覚したばかりの厚労省は、これまでに何度も命にかかわる重要情報の隠へが問題化。その体質を問う声が噴出している。

【大島秀利、高木昭生】

## 薬害エイズ、肝炎 命の情報また隠へい

## 厚労省、問われる体質



厚労省が国民の健康に関する情報を出さず、問題になった例は多い。血液製剤による薬害肝炎改めてリスト記載者の追跡問題では、厚労省が02年か調査に乗り出している。また、薬害エイズ問題で厚労省は「国内で死亡例が1例出ても、安全性に関する判断には影響しない」と考えた」と説明した。

「本人への告知をせず放置していたことが今年10月に明らかになった。同省は現在、染者全員が発症するわけではなく、半数以上は潜伏している。患者1人が副作用死している」として半年以上、対策を講じていない。旧厚生省は「国内で死亡例が1例出ても、安全性に関する判断には影響しない」と考えた」と説明した。

## 事業所 被害発覚遅らす 非公表

「いったん公表した事業所名をなぜ公表できないのか」「何も知らず、手厚い補償を受けられない被害者が出ていないのか」。石綿労災被害者や支援団体は昨年4回、開いた厚労省との直接交渉で、そう詰め寄った。労働者や周辺住民にとって、事業所名が明らかになるメリットは大きい。05年6月に兵庫県尼崎市のクボタ旧石綿工場

周辺で、中皮腫多発が判明したクボタショックでは、中皮腫や肺がんなどを発症した労働者や住民が関連を疑い、自ら申し出て被害認定されたケースが多くある。また、クボタショック直後の7、8月に厚労省が全国の石綿労災の発生事業所名を初公表。それにより各事業所の勤務経験者や周辺住民ら被害者の補償と救済が進み、がんの労災認定は05年度からの2年間で、過去2年の8倍に急増した。厚労省は当時、「工場周辺住民や過去の勤務者、健康対策を立てる自治体への適切な情報を提供したい」と公表理由を説明。ところがその後、

非公表の立場に転じた。厚労省は「国民の不安に対する緊急措置だった」と、特例を強調した。だが非公表による被害者の不利益は計り知れない。事業所で石綿を使用

した事実には気が付かない退職者や遺族は、結局、労災認定による手厚い補償を受けられなくなる。特に、01年3月以前に死亡した人を対象にした時効救済の申請期限は、09年3月に迫っており、何も知らず申請期限を過ぎしてしまう恐れがあるのだ。中皮腫の潜伏期間は約40年とされ、発症する人は今後さらに増加するとみられている。それを裏付けるように06年の中皮腫による死者は初めて年間1000人を超え、05、06年度の中皮腫や肺がんの労災認定数は20244人と膨れあがった。石綿問題に詳しい名取雄司医師は「企業側から、

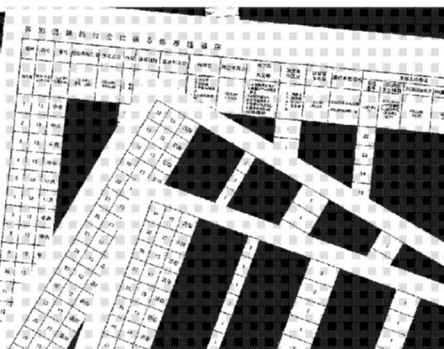
## 治療にも悪影響

労災があった事業所名やその所在地、労災発生件数は、患者の早期診断や治療をするうえで重要な情報とする。石綿被害に詳しい奈良県立医科大学の車谷典男教授(産業疫学)は「医師が労災のあった事業所を把握していれば、患者の職業や居住歴を見て、石綿の可能性があることを

に注意して診察することができ、また工場周辺の住民に被害が及ぶ石綿公害の調査でも事業所名は重要だ。仮に中皮腫や肺がんになった場合、周辺に労災発生事業所があれば、関連を探ることができ、環境省や群馬、茨城両県が実施した調査で減るはずだ」と提言する。

の所在地を材料に検討する試みも行われた。しかし、周辺の事業所が明らかでなければ、こうした試みもできず「原因不明」とされやすい。

一方、岡山大学大学院の津田敏秀教授(環境医学)は「非公表は国民の利益にならない。抱え込んだ情報を有能なNGO(非政府組織)と共有し役立てることで、国に対する訴訟など国民の不満は減るはずだ」と提言する。



開示された石綿労災申請についての処理経過簿。事業所名などが黒塗りにされていた

左面からつづく

Main table containing asbestos-related labor disaster statistics. Columns include: 労災認定、救済件数 (Total, Male, Female), 事業の種類 (Industry/Job Type), 労基署名 (Company Name), 性別 (Gender), 年齢 (Age), 疾病 (Disease), 患中 (In Progress), 別 (Other), 死亡 (Deceased). The table is organized by prefecture (e.g., 大阪府, 京都府, 兵庫県).

建設業合計 1418 1397 21 515 872 31
総計(業種不明13人含む) 3478 3344 134 1287 2078 113
※正式名称は「その他の業種、土石製品製造業」

労基署別 全事例

(労基署名は05、06年度のものを)

Table with columns: 労基署名, 事業の種類, 総数, 性別, 労災認定, 救済件数, 患者別, その他. Lists various industries and their corresponding asbestos-related cases.

石綿覆う石綿禍

23社が回答

毎日新聞は、今回の資料をもとに、認定者と救済者が多数いるとみられる36社に取材し、05、06年度の認定者数と病名の内訳、06年度の救済者数と病名の内訳、認定者数・救済者数・病名の内訳、申請に必要書類の発行数を回答した。また、「認定者・救済者数」は、申請に必要書類の発行数を回答した。また、「認定者・救済者数」は、申請に必要書類の発行数を回答した。

Table titled '主な企業の事例' (Main Corporate Cases). Lists companies like 住友化学, ヤンマー, JR東日本, etc., with columns for 05/06 recognition and relief cases.

Table titled '05、06年度の申請数' (Applications for 05/06). Lists companies with columns for 労災合計, 救済合計, 肺がん, 中皮腫, その他.

Table titled '05、06年度の事業主証明発行数' (Number of Business Owner Certificates Issued for 05/06). Lists companies with columns for 労災合計, 救済合計, 肺がん, 中皮腫, その他.

企業別労基署別事例一覧

石綿被害者の支援団体が情報公開請求して新たに判明した、05、06年度のアスベスト(石綿)由来の労働災害認定者と石綿健康被害救済法の労災時効救済者は、計3478人になる。認定者と救済者は全都道府県に広がっており、支援団体は関係する事業所が計720カ所(建設業を除く)を上回る。分析している。労働基準監督署別の全事例と、毎日新聞が独自に取材した主な企業別事例を紹介する。支援団体は「中皮腫など関連疾患と診断された人で、該当する地域・業種で勤務経験のある人は問い合わせほしい」と呼びかけている。

石綿含有建材を使った建築物の解体は続き、作業時に吸引する危険性が指摘される。

船舶では一般的に、船内の居住スペースや機関部分を中心に、石綿を含んだ製品を断熱材として使用していた。

化学繊維 化学工業での石綿関連の認定者・救済者は12人は数人だった。また、パルプ・紙製造業は、厚労省の05年データで認定者は1人だったとされている。

化学繊維 化学工業での石綿関連の認定者・救済者は12人は数人だった。また、パルプ・紙製造業は、厚労省の05年データで認定者は1人だったとされている。

支援団体は「認定を受けた人は事業所名などの情報を寄せてほしい。関連病になった一般の住民も心当たりがあれば、相談してほしい」と話している。連絡先は次の通り。

Main consultation information box including '主な相談先' (Main Consultation Office), 'アスベスト被害' (Asbestos Victims), and 'フリーダイヤル' (Free Dialing) with phone and fax numbers.

鉄道 鉄道車両製造などをめぐり、05年度までは厚労省の05年公表までは、初めて明らかになった。

化学繊維 化学工業での石綿関連の認定者・救済者は12人は数人だった。また、パルプ・紙製造業は、厚労省の05年データで認定者は1人だったとされている。

化学繊維 化学工業での石綿関連の認定者・救済者は12人は数人だった。また、パルプ・紙製造業は、厚労省の05年データで認定者は1人だったとされている。

化学繊維 化学工業での石綿関連の認定者・救済者は12人は数人だった。また、パルプ・紙製造業は、厚労省の05年データで認定者は1人だったとされている。

右面につづく

# 手をに闘いの孤独

## 石綿被害 全容判明

### 「非公表」怒り訴え

### 労災認定の62歳男性

アスベスト(右廻)被害を巡り、事業所名の非公表を続ける厚生労働省。その陰で、急増する労働災害の被害者……。石綿被害の実態は見えにくくなっているが、患者や支援団体の執念が厚い壁に風穴をあけた。被害者はまだたくさんいる。事業所名の公表を。被害者や支援団体の悲痛な叫びはいつ国に届くのか。

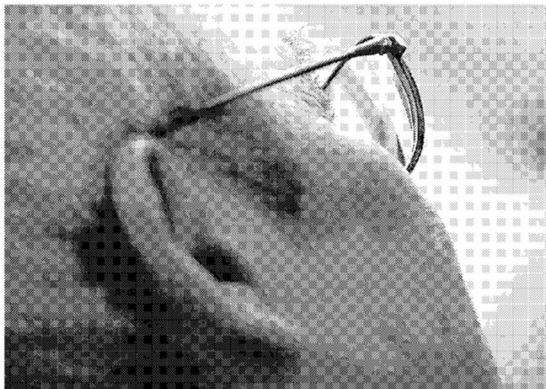
【野田武】

「企業名を隠せば、社 厚労省の姿勢に不信感をあいまいにしてしま 態を。06年9月に肺がん 崎造船所(同市)で長年勤 う」。労災認定された長崎市 務し、02年に肺がんと診 の男性(62)は、そう言っ 断された。今回明らかに

なった労働基準監督署別 業種別認定数で全国最 多だった長崎労基署の船 舶製造業63人の一人だ。 「先週から別の抗がん 剤治療を始めた。不安 が常にあり、つらいで すよ」。男性はバジャマ 姿で病院のベッドに腰掛 け、かすれ気味の声で半 生を語り始めた。

ナリを使う作業だった。 火花が足場に引火するの を防ぐため、縦1肩、横 2肩ほどの石綿製の布を 敷いていた。「作業場所 が変わればたんで持つ て行った」と証言する。 70年代に入ってから、

「企業名を隠せば、社 厚労省の姿勢に不信感をあいまいにしてしま 態を。06年9月に肺がん 崎造船所(同市)で長年勤 う」。労災認定された長崎市 務し、02年に肺がんと診 の男性(62)は、そう言っ 断された。今回明らかに



開示文書を広げ患者からの相談に応じる片岡明彦さん 大阪府中央区の事務所

## 苦しみと涙 透けて見えた

半年がかり、執念の分析 片岡 明彦さん

「膨大なデータには、 綿被害の全容を浮かび上 がらせた「中皮腫・じん 肺・アスベスト」センタ ー(東京都江東区)運 営委員で市民団体の職員 の片岡明彦さん(49)は、執 念とも言える半年以上の 作業を終え、そう語った。 片岡さんの昨年、患者 団体などの政府交渉に立 ち会い、厚労省の事業所 名非公表を知った。「お かしい」。患者や家族と 何度も担当者に向った が相手にされなかった。

「何ともしなければ」と 事例を、労働基準監督署 別や業種別に整理し直す と、船舶製造業(輸送用 機械器具製造業)などの 文字が、同地域にすらし と並んで出てくる。黒塗 りされた被害の様子が透 けて見えるようになった。 「公務員になった時の 初心に帰って、泣いてい る人々を少しでも減ら してほしい」。 片岡さんは、厚労省に 共同作業を呼びかけてい る。

【大島秀利】

労災認定基準が緩和され たのに伴い、大病院に 保存されていた肺を調べ てもらった。石綿が見つ かり、退職後の昨年9月 に労災認定された。 一般に肺がんの場合、 石綿が見つかるなどしな ければ、労災認定されに くい事情がある。男性の 場合、石綿が検出され、今 は治療費の心配もない。 だが、同じ被害を受け ながら認定されない患者 や、石綿を使っていた事 実すら知らない人々を 思うと心が曇る。男性は べっこの訴えを。男性は 02年12月、手術で左肺 の上葉を全摘出し、03年 2月から折がんと治療を 始めた。石綿が原因と思 っていないが、昨年、世 論の後押しも期待できな いじゃないですか」 完治しないことは、覚 悟している。山登りと写 真を趣味に持つ男性は、 暖かくなったら花の写真 を撮りに行くと思っ ている。